

The Marian



Kyoto Notre Dame University

京都ノートルダム女子大学 同窓会 会報

- 01 目次
- 02 会長挨拶／本部役員紹介
- 03 ご挨拶(名誉顧問、顧問)
- 04 第50回総会報告
- 05 平成26年度活動報告／本部役員の仕事紹介
- 06 第4回ノートルダムファミリーコンサートの報告／
近況をかねて一水辺にて
- 07 平成25年度会計報告／
国際交流マリアン奨学基金のお願い
- 08 シスターからのお手紙
- 09 ネパール支援 ラリグランスクラブ／
第12回留学生のための日帰りツアー
- 10 支部だより
- 11 地区だより
- 12 地区だより
- 13 みちくさ会／活躍されている同窓生
- 14 同期会の報告
- 15 同期会の報告／手芸ボランティア／NDおあしす
- 16 アクティビティー案内／日本文化研究会へのお誘い
- 17 平成26年度 マリアンハウスチャリティーバザーの報告
平成27年度 文化プログラムの案内
- 18 大学だより
- 19 平成27年 第51回 同窓会総会のお知らせ
同期会のお知らせ／祝周年の皆様
- 20 編集後記／マリアンハウス使用規定

ご挨拶



会長
瀧井 優子 (23C)

同窓生の皆様

早いもので中井前会長から引き継ぎました会長の任期が5月の総会をもちまして完了いたします。

同窓生の皆様、役員の皆様、和田環法人理事長、芹田学長はじめ大学関係者の皆様、多くの皆様方のご指導・ご協力のもと2年間の任期を務められましたことを心より感謝申し上げます。支部会や各地区会に参加させて頂き、多くの同窓生の皆様にお会いできたことは、何よりの思い出となっております。

同窓会は、50周年を迎え会員数も14400余名となりました。

大学の校舎施設は「北山キャンパス総合整備計画(大学)」により5月にすべて工事が完了する予定となっており、今年度の総会は5月31日に新しく生まれ変わった女子大学で開催することになりました。この機会にぜひ、母校へお越しください。多くの同窓生の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

また、50周年記念事業として同窓会ソング「友よ!」を作りました! この会報とともに皆様にお届けさせて頂いておりますので、同期会・ゼミ・クラブなどのお集まりの時にはこの歌で同窓生の絆が深まりますように…。

そしてこれから60周年、80周年… 100周年と大学とともに同窓会が発展し、同窓生の和が広がっていくことをお祈りしております。

2年間、本当にありがとうございました。

平成25～26年度本部役員

会 長	瀧井 優子	23C	(藤井)
副 会 長	足利 和子	6C	(冨井)
	中井 恭子	12E	(塚本)
会 計	北谷貴代子	23C	(堀部)
	本郷 智子	23E	(藤田)
書 記	北村 孝子	7E	(山本)
	吉村 美希	25C	(宮永)
庶 務(広報)	中小路理恵	21C	(竹原)
	橋本 睦	40E	
庶 務(名簿)	北澤 みよ子	12C	(山田)
	寺西 みどり	13E	(楠瀬)
マリアンハウス 運営委員会	山田 恵子	12E	(村岡)
	森本 純子	14E	(塚本)
会 計 監 査	大島 美映	22E	(中西)

5月31日の総会をもって解散いたします。有り難うございました。

平成27～28年度本部役員候補者

次の方々が次期役員に推薦されました。
同窓会総会で承認を受けることになっております。
宜しくお願い致します。

会 長	北谷貴代子	23C	(堀部)
副 会 長	北村 孝子	7E	(山本)
	瀧井 優子	23C	(藤井)
会 計	石部 和代	15E	(山田)
	今井 友美	27C	(柏谷)
書 記	五由出千春	8C	
	矢木 高子	23C	(磯部)
庶 務(広報)	黒崎久美子	21C	(鈴木)
	中小路理恵	21C	(竹原)
庶 務(名簿)	足利 和子	6C	(冨井)
	中川 晴美	24E	(市原)
マリアンハウス 運 営 委 員	北村香代子	23E	(斉藤)
	宮本としか	23E	(渡邊)
会 計 監 査	大島 美映	22E	(中西)

同窓会ソング「友よ!」ができました

同窓会創立50周年記念事業の一環として、総会や支部・地区会、同期会などの集会でみんなで歌える同窓会員のための愛唱歌を作成することを検討して参りましたが、ようやく完成いたしました。

作曲は第4回ファミリーコンサートにも御出演いただきました藤林由里先生に、作詞は副会長・中井恭子さんをお願いいたしました。とても親しみやすいメロディーです。

楽譜を同封しておりますので、是非ご覧になってください。同窓会館に貸出用CDもございますのでご利用ください。

藤林 由里先生 [Profile]



ノートルダム学院小学校出身

京都市立堀川高校音楽科ピアノ専攻、愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業

2012年7月 京都市芸術文化協会賞受賞

同志社女子大学講師、華頂女子高校音楽科講師

日本女性作曲家連盟副代表

日本作曲家協議会会員、京都音楽家クラブ会員

新年度のご挨拶

同窓会名誉顧問 学長
芹田 健太郎



同窓の皆さま、お元気でいらっしゃるでしょうか。

昨年の同窓会総会で皆様にお目にかかったのがつい昨日のように思われますのにもう総会が巡ってきます。一昨年は富士山の世界遺産登録に貢献された当時の文化庁長官近藤誠一氏のお話を、昨年は前防衛大学校長五百旗頭真氏(ご夫人は同窓の方でした)のお話を伺いました。本年は皆様のご要望もあり、がらっと趣向を変えて、日本人で初めてパリのホテル・リッツで修業をされた小西シェフからフランス料理のお話を聞けることになりました。

昨今和食が話題に上っておりますが、本年の同窓会日本文化研究会の新年会は南禅寺「八千代」であり、庭園を見ながらの食事のほか、筑前琵琶の演奏を聴きました。解説とともに柔らかな音色で、新年らしく祝儀曲「宝船」に始まり、いかにも琵琶と思わせる「都落ち」を高橋旭妙さんの弾き語りで、同窓50人ほどの皆様と、味わいました。昨年7月には中部支部総会に出席。同窓の岐阜大学大藪千穂教授のアーミッシュのお話を興味深く聴き、同窓の思いを心にとどめました。9月のファミリーコンサートではNDの結束の強さと広がり、底深さを実感しました。

さて、大学では、6月に女学院中高校と交流のある韓国済州島の晨星女子高校と、外国校とは初めてとなる高大連携協定を結びました。在済州島日本総領事の祝辞があり、私も記念講演を行いました。締結式後の説明会では流暢な日本語を話す高校生からの質問もあり、大変頼もしく思いました。これを機会にアジア諸国との連携が深まることを期したいと思っております。

昨夏8月には28日から30日まで、フィリピンのミンダナオ島ダバオ市で開かれた東南アジア・東アジアカトリック大学連盟(ASEACCU)の国際会議に初めて学生と教員を派遣しました。日本からは現在同連盟会長校の南山大学のほか、聖心女子大、清泉女子大、白百合女子大などから参加し、韓国、台湾、インドネシア、タイ、シンガポール、オーストラリアなどから参加しました。本学からは、諸種の事情で、学生は英語英文学科の2年次生が参加し、彼女は、Salamat というタガログ語(ありがとうの意)を覚えて帰ってきました。会議のテーマはCatholic Higher Education for Social Justice という日本人学生にはやや難しいと思われるものでした。フィリピン学生にとっては、フィリピン社会が抱え、フィリピン・カトリック教会が訴えている貧困や格差や過疎化、宗教対話(カトリック・プロテスタント間の、また、キリスト教・イスラム教間の対話)の問題は、日常ではありますが、日本人学生にとっては、特に本学の学生にとっては、こうした問題は、身近ではないだけに、本学でも行っていますが、東北の被災地に寄付をするだけでは、意識としても遠いと思われます。教育上も何らかの工夫が要るところと感じています。今夏はインドネシア中部ジャワのスジジャブラナタ(Soegijapranata)カトリック大学で行われます。詳細はまだ決定しておりませんが、派遣する予定です。

これからの学生たちは、今でもすでにそうですが、より一層アジア世界の中で生きていきますので、私ども大学を、世界のカトリックの輪の中で、特にアジアの中に位置づけ、アジアの人と暮らしを伝え、学生たちにその息吹を感じさせる教育をしていきたいと思っております。

ごあいさつ

英語英文学科教授 顧問
須川 いずみ



みなさま、ご清祥のこととお慶び申し上げます。いつも母校に思いを寄せて下さいまして誠にありがとうございます。時々卒業生の方が本学を訪ねて来て下さるのは、教職員にとりましてとても嬉しいことです。時には母校のホーム・ページを覗いて、イベントに参加してみてください。特に10月最終の土曜日・日曜日の大学祭がお勧めです。オープンキャンパスも同時開催していますので全学を御覧になれます。卒業生のバザーは日曜日ですが、役員の皆様が心を込めて手作りの物をたくさんご準備して下さい、とても好評です。昨年は大学祭で多くの卒業生の方々にお会いすることができました。その時みなさまが新学舎に感動して「こんなところで勉強したかったわ」と異口同音におっしゃっていました。

本学の北山キャンパス総合整備計画もいよいよ大詰めになってまいりまして、グランド・オープニングも間近です。昨年4月に完成した新しいユーゲニア館の1階は、玄関からすぐのところには図書館の入り口、右手にはラウンジ、その奥にカフェテリア・ダイニングがあります。2階も半分は図書館ですが、情報演習室が3室あります。特にアップルファンなら息を飲むようなアップルPCを揃えた編集工房室は圧巻です。その他、本学から留学を希望する学生や、本学への留学生のお世話をしている国際教育課、その隣には、日本語禁止のイマージョン・ルームがあり、学生の語学練習の場になっています。3階にはノートルダムの歴史を辿れるヘリテッジコーナーやシスター方が在室して下さるシスターズ・ルーム、それにとても美しいお聖堂、300名収容できるNDホール、大講義室や教室、4階は教室の他に大文字の「妙」「法」を間近に臨む景色のよいカフェ、コンビニとブックショップなどがあります。

元の図書館棟のソフィア館は基本的に事務局棟として生まれ変わり、1階は学生課、教務課、キャリアセンター等の学生対応部署、2階には管理部署である総務課、施設課、入試・広報等と理事長室、学長室、法人本部等があります。3・4階は教員研究室と教室です。ただ今テレジア館とユニソン会館が改築中で、6月には美しいキャンパスをご披露できると思います。

永遠に心のふる里である母校に一度お遊びにいらっしやいませんか? みなさまのお越しをいつでも心よりお待ちしております。

第50回総会報告

平成26年5月25日(日)、第50回総会がグランドプリンスホテル京都にて開催されました。学長・理事長をはじめ、シスターや先生方をお迎えし、同窓生120余名が集まりました。

特別講演は芹田学長のご紹介により、政治学者・歴史学者の五百旗頭 眞先生に、テーマ“日本再生の道筋”と題し話をして頂きました。

“日本再生の道筋” 政治・歴史学者 五百旗頭 眞先生 講演

近年日本では震災、天災が繰り返され、その度、復興に尽力し災害から立ち直るため、国と被災地が連携プレーを積み重ね、人命救助、地域ボランティアと、基金の支援を受けながら日本再生の道筋をつけてきた。

世界では第一次世界大戦、第二次世界大戦を経験し権力闘争を繰り返しながら、今もなお、平和を模索している。

日本は東南アジアの平和を守るため、アメリカとの関係を保ちながら、平和の道筋を探している。

ND同窓会の皆様は自分達とそれぞれの家族のためにも、日本の平和維持を願い努力してほしい。



五百旗頭 眞先生

《懇親会担当学年20期の方々の感想》

● 恩師、先輩、同期、後輩の方々との再会！学生時代に戻りました。慌ただし日常生活を忘れる様なうっとりとする音色のハープ演奏！涙してる方もおられました。50回記念総会という尊い機会に、20期生としてお役を頂戴し、出席させて頂けたこと、嬉しく感謝しております。

● 第50回記念総会に参加し、懐かしく温かな気持ちになりました。摩寿意先生のハープ演奏は素晴らしかったです。ESSのOGで行った抽選会は皆で全力を振り絞り、忘れられない思い出になりました。同窓会のますますの繁栄を祈ります。有り難うございました。

● 今回の同窓会には、私たちの学年(卒業30周年)が10名集まりました。懐かしい顔を見ていると、茶色い制服を着て授業を受けていたことや、顧問のSr.Vivienneと一緒に信州までESS合宿に行ったことなどが思い出され、本当に幸せなひと時を過ごすことができました。素晴らしい機会をありがとうございました。

祝周年学年の皆様おめでとうございます。



平成26年度活動報告

- | | |
|---|--|
| <p>5月 第50回総会(グランドプリンスホテル京都)
各支部・地区委員との合同ミーティング
国際交流マリアン奨学資金より留学生に奨学金授与
各クラス春季開講</p> <p>6月 山陽地区会
歴代会長・学年委員・サークル・クラス代表
合同委員会(アセンブリーホール)
日文研 楽美術館「手にふれる楽茶碗鑑賞会」
※「簡単リンパ療法」「美肌と食」</p> <p>7月 東北地区会
中部支部会</p> <p>9月 ノートルダムファミリーコンサート
各クラス秋季開講
日文研 京都絞り工芸館 絞り染め体験
※「チャリティーバザー作品作り」</p> <p>10月 ホームカミング・マリアンハウスチャリティーバザー</p> | <p>11月 物故者追悼ミサ参列(ユニソン会館)
小学校、中高、大学三校同窓会合同委員会
留学生日帰りツアー(宝塚歌劇)
日文研 妙心寺退蔵院 紅葉の特別拝観
※「クリスマスアレンジメント」</p> <p>12月 ノートルダムクリスマス参加</p> <p>1月 各クラス冬季開講
日文研 新年会(南禅寺 八千代) 琵琶の演奏とお話し</p> <p>2月 歴代会長会</p> <p>3月 小学校、中高、大学三校同窓会合同委員会
同窓会新入会員への説明会
第51回大学卒業式列席
日文研 随心院 拝観および写仏と梅園鑑賞
※「心理学講座」</p> <p>4月 会報「マリアン」45号発行
平成27年度大学入学式列席
※「アクセサリー作り」 (※はマリアンハウス文化プログラム)</p> |
|---|--|

本部役員の仕事紹介

書記の役割

- ・月1度の役員会議事録作成
(5月は通常役員会に加えて臨時役員会及び総会の議事録作成)
- ・合同懇親会(二年に一度開催)の議事録作成
- ・歴代会長会(年二回開催)の議事録作成
- ・小学校、中高、大学三校同窓会合同委員会(年二回開催)
内三回に一回議事録作成
- ・ファミリーコンサート(三年に一度開催)
打ち合わせ議事録作成

庶務(広報)の役割

- ・イベント時の撮影担当
(例)平成26年度:総会、地区同窓会、ノートルダムファミリーコンサート打ち上げ、バザー、留学生ツアー等)
- ・同窓会会報 マリアンの原稿依頼・原稿の受付窓口と対応
- ・原稿の校正
- ・印刷会社との打ち合わせ
- ・同窓会ホームページの更新(大学広報へ原稿と写真を送付し依頼します)

庶務(名簿)の役割

- ・会員名簿の管理は事務局のパソコンにて管理
- ・会報発行・追悼ミサの前に物故者のリストアップ
- ・新規同窓会員(卒業生)の住所他を大学の学生課へ申請する
- ・留学生ツアーの準備・引率
- ・同窓会50周年記念事業の「会員名簿」の発送手配



05

会計の役割

会計は大きく分けて、本部会計、ボランティア会計、国際交流マリアン奨学基金会計の3つに分けられます。会計係は、その3つの会計の管理をし、半期ごとに報告書等を会計監査に審査をしていただいています。
(各会計の収支内容はP7の会計報告をご覧ください)

マリアンハウス運営委員の役割

主な仕事はマリアンハウスの管理と運営です。内容としては、皆様に楽しんで頂ける様な文化プログラム(お料理や手作り、運動、講演など)を年4、5回企画しています。又、本部主催のチャリティーバザーの際には、マリアンスタッフと共に企画運営しています。学年を超えた楽しい同窓生交流をめざしております。

訃報 ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

シスターメリールイズ 安井昌子様(03E) 2015年 1月18日
船本 真理様(13E) 2011年 12月 7日
村上 和子様(03E) 2012年 2月
鈴木 美砂江様(13E) 2013年 8月20日
藤原 美文様(10E) 2013年 12月16日
藤原 千賀子様(12E) 2013年 12月26日
下世古 祥子様(03E) 2014年 1月 3日
松本 多美様(05E) 2014年 7月31日

島田 久子様(09E) 2014年 8月28日
浮守 篤子様(15E) 2015年 1月17日
勢一 令子様(12C) 2015年 1月26日
山本 絹栄様(01E)
藤井 和子様(02E)
藤井 ユリ子様(08E)

第4回ノートルダムファミリーコンサートの報告

実行委員長 中井恭子(12E)

2014年9月6日(土)、京都コンサートホールにて、第4回ノートルダムファミリーコンサート〜和・愛・絆〜が無事、盛大に開催されました。今回第1部では、詩情豊かなヴァイオリン演奏の後、日本の伝統文化〈能舞〉と西洋音楽のコラボが見事に上演され、客席から満場の拍手がしばらく鳴り止みませんでした。第2部では、恒例の女学院中高オーケストラ部(今回はOGも参加)による演奏とハレルヤ、三校校歌やふるさとの大合唱でノートルダムファミリーの歌声が、会場一杯に響き渡りました。

このコンサートの誇りとするところは、出演者やスタッフのすべてがノートルダム出身者や関係者であることと、皆様がファミリーの絆とチャリティーを目的とする、このイベントの主旨をよく理解して下さっていることです。

演奏会終了後は、出演者とスタッフとの打ち上げ懇親会が新ユージニア館の大学学生食堂で開催され、大学同窓会がお世話を担当させて頂きました。79名の参加があり、一同感動の余韻に浸りながら、とても和やかな歓談のひとときとなりました。このコンサートに参加して下さった方々は次の通りです。指揮者・ゲスト出演者8名、女学院オーケストラ・OGオーケストラ130名、混声合唱団215名、陰アナ・録画撮影業者5名、スタッフ(三校校長、法人事務局、実行委員、同窓会役員、父母の会、保護者会役員)70名、当日客席への来場者1,156名(ホール調べ)。尚、収益金(1,433,490円)は、東日本大震災復興支援とネパールでの教育活動のために寄付されます。

この演奏会のために、ご支援下さったすべての皆様に心より感謝申し上げ、ご報告といたします。ありがとうございました。



近況をかねて—水辺にて

シスター セリーン・松本



2004年3月末、唐崎修道院に移って以来早いもので10年経ちます。唐崎での諸行事に携わることが主な仕事になったので、週末に催される総会や本部での行事に参加できなくなり皆様にお目にかかる機会も少なくなりました。こちらの行事と重ならない日に企画される同期会に、たまに出席させていただくことがありますが、皆様の広範囲に及ぶ活躍ぶりを知り驚嘆するばかりです。卒業生の一人ひとりがそれぞれの場でノートルダム精神を生きておられるので嬉しく思い、かえって励まされています。

同窓会が企画される種々のクラスアクティビティは、意欲と興味を誘うもので生涯学習のよい機会だと思います。同窓会の一員だと厚かましくも自称している私にとっても、いまだに、毎月のアクティビティは楽しく刺激のあるお稽古日になっています。

唐崎修道院へは多くの方々が心の糧、心身の憩いを

求めて来られます。生活の場での複雑な人間関係のもつれや悩みがある時、琵琶湖畔の水辺に立って心静かに祈ると、神様がそっと心に入ってきて下さるのでしょうか、不思議にすべてがときほぐされ、洗われ、浄められ、癒されます。「水はつかめません。水は掬うのです。指をぴったりつけてそっと大切に。水はつかめません。水は包むのです。二つの手の中にそっと大切に。水の心も人の心も。(高田敏子作詞)」という歌があります。水を両手で大切に掬うとその中におられる優しい神様を感じます。神様はいのちの水、希望と喜びで心を満たして下さいのです。

今年も、琵琶湖に渡り鳥が来る時期になりました。湖面で無心に遊ぶ鴨、かいつぶりの群れが日増しに多くなっています。同窓会の皆様も心洗われる水辺に是非お越しください。

2014年12月8日

京都ノートルダム女子大学同窓会 平成25年度会計報告

本部会計

収支報告

収入の部		支出の部		
費目		費目	予算	決算額
前年度繰越金	34,409,907	総会費	1,000,000	633,591
終身会費	6,450,000	マリアンスカラシップ	1,000,000	1,000,000
マリアンスカラシップ返済金	400,930	マリアン発行費	3,000,000	2,320,192
クラスアクティビティ受講料	284,500	卒業記念費	1,000,000	※1,344,000
雑収入	31,890	クラスアクティビティ	1,200,000	620,000
利息	2,779	支部活動・援助費	800,000	364,560
		同期会クラス会補助	200,000	43,100
		会議費	300,000	336,659
		交際費	500,000	179,923
		通信費	300,000	217,210
		事務費	100,000	74,696
		マリアンハウス運営費	2,200,000	1,549,877
		予備費	100,000	115,175
		同窓会創立50周年記念事業費	1,000,000	1,942,500
		支出合計	12,700,000	10,741,483
		次年度繰越金		30,838,523
合計	41,580,006			41,580,006

☆マリアンスカラシップ 申請者4名の学費充当のために、100万円を寄付しました。

※24年度、25年度の2年分

上記の通り決算報告申し上げます。

審査の結果、収入支出いずれも適正であることを認めます。

会計 本郷 智子

会計監査 大島 美映

北谷貴代子

07

ボランティア 寄付金の送り先

- ネパールノートルダム教育修道会 ￥100,000
- ラリグランスを通してネパールの恵まれない人々の為に ￥50,000
- 「災害子ども支援ネットワークみやぎ」へ ￥500,000
- NDクリスマス献金 ￥10,000

※チャリティーバザー、手芸ボランティア活動による収益金に加えて有志の皆様のご寄付によるものです。
ありがとうございました。

国際交流 マリアン奨学基金

心理学部心理学科2年次生 盧沛瑤(ロ・ハイヨウ)さんへ、平成26年5月総会において
奨学金12万円を授与しました。

国際交流マリアン奨学基金のお願い

奨学基金は現在、奨学金12万円を1名に、また、留学生ツアーに使わせていただいています。留学生が将来、日本と母校の架け橋になられることを期待して、できる限り支援を続けたいと思います。皆様のご協力をお願い致します。

同封の振込用紙をご使用の上、1口1,000円で、お心のままにお振込み下さい。その際には、封筒に印刷されている学籍番号をご記入下さい。

平成26年度国際交流マリアン奨学金協力者（敬称略） 平成26年3月～平成27年1月末までの掲載となっております。

宮井順子 大倉恵子 牧由喜江 瀧井優子 薮根富美 松田良美 点頭恵子 安達典子 丹波薫
小郷里美 福井純子 瀬戸清美 西村利佳 細井崇子 本郷智子 家木左知子 中村祐子 美馬緑
高橋千亜紀 匿名1名

〈寄付金総額：128,870円〉

シスターからのお手紙



振り返り

O-hisashiburi desu !
日本で過ごした日々がよみがえってきます。

私は1963-1973年と1976-1984年ほぼ京都で過ごし

ました。リーディングI・II(ズッシリとした教科書、覚えていますか?)や現代詩をはじめ、英米文学の多くのコースと卒論の指導をしました。授業は全部英語でした。聖書の講座も持ちました。

帰国後はDV関連で11年、移民・難民との関わりで5年を、ソーシャルワークに費やしました。研究活動や修道会への奉仕もしましたが、今は故郷のセントルイスで、半ば引退生活。それでも、移民と難民の人たちの学習補助や、霊的指導もしています。

今アメリカでは感謝祭の時期ですが、「感謝」という言葉は私が日本で得た恵みに対してぴったりです。仏教や精神文化を学び、四季の美しさを味わうことも出来ました。日本の人々は私の人生の一部です。ありがとうございます。そして、皆さんにも人生で「ありがとう」と感じる思い出があるようにと祈っています。

シスター ジョーン・モーレム



ごあいさつ

ずい分時が流れた今、卒業生の皆さんにメッセージを送るのは何て嬉しいことでしょう。語学教育のスタッフとして1975-1998年、女子大での教鞭を本当に楽しみました。

私は1965年来日し、東京で日本語の勉強をして、京都ノートルダム女学院で教えました。英語の授業は、生徒の上達を目の当たりにした時、最高に嬉しいものでした。英語科とはいえ、世界で何が起これ何が必要なのか意識するように指導していましたよね? 私には人間の価値が一番大切でした。ノートルダムのモットーの「徳と知」を教材に生かそうとしました。

インドの教育支援活動には、多くの方が寄付金や事務的なお手伝いをしてくださいました。今一度、自分の恵みを少し分けてあげて下さいませんか?

私は昨夏シスターになって60年(ダイヤモンド記念)を迎えました。卒業生1人1人が私の人生の特別な恵みです。最後をお願いします。自分の人生を何かしら変えてくれたノートルダムを思い出して下さい。母校で学び目にした“価値”をあなた方は携えて生きてきたのです。そのことを忘れないで下さい。

シスター ジーン・シュミット

REFLECTIONS

O-hisashiburi desu! Writing this brings back many memories of my years in Japan: today, mostly memories of you alumnae members; of the buildings and campus of NDWC (now NDU); and of the magnificent autumn leaves that make Kyoto so lovely in the fall.

Some of you remember me as Sister Maris Stella Moorhem, the religious name I used when I first arrived in Japan in 1963. But for most of you, I'm Sister Joan Moorhem, "Joan" being my legal and baptismal name.

I was in Japan, mostly Kyoto, from 1963-1973, and again from 1976-1984. During those years I taught many of you: Reading I and II (remember those big, heavy ENGLAND IN LITERATURE books?); Composition; The Modern Novel; Modern Poetry; and the Metaphysical Poets. I also had many of you for seminar and directed your graduation theses—all in English! Eventually I also taught Scripture and worked with several small Bible groups at the college and out in the community.

After I returned to the States, I moved into social work, with victims of domestic violence for 11 years and with refugees and immigrants for 5 years. I also did some studying and some community service for the School Sisters of Notre Dame. These days, I'm semi-retired and living in my home town, St. Louis, Missouri. I'm a volunteer teacher with the Immigrant and Refugee Women's Program; my student is a Muslim woman from Iraq. She works hard at learning to read, speak and write English. I also serve part-time as a prayer guide and spiritual director.

I'm writing this in November, and here in the United States, we celebrate Thanksgiving Day this month. "Thanks" is the one word that sums up my feelings about all the gifts I received during my Japan years. I am grateful for so many things: the opportunity to learn about Buddhism and Buddhist spirituality; the beauty of each season; but mostly for the many Japanese people who were and continue to be part of my life. Thank you! And my prayer is that each of you finds something in your life to say "Thank you!" for, too.

Sister Joan Moorhem

Dear Alumnae Members,

How happy I am to be able to send a greeting to each of you after such a long time. The years have passed so quickly, haven't they? I have fond memories of teaching so many of you. I really enjoyed my years at NDWC from 1975 through 1998. I also remember so many of you and many teachers of those days. During that entire time I was a member of the Language Training staff in the English Department and for several years taught Composition and Christian Literature as well.

I arrived in Japan in 1965 and first spent almost two years of language study in Tokyo. After that I moved to Kyoto where I taught English at NDJ. Those, too, were memorable years. Of course, I continued my own study of Japanese as well.

My language classes were always a joy for me especially when I could see the progress each student made. If you recall, I worked not only on grammar and conversation, but tried to help you to be aware of world events and the needs of others, both material and personal. Not only through the Christian Literature classes - but also in English classes - human values were always a priority for me. In keeping with our ND motto - Virtus et Scientia (Toku to Chi) - the topics, stories, drills I used often dealt with values. I especially enjoyed composition classes because then it was easier for you to express your thoughts and feelings in writing than in conversation.

Do you also remember the outreach project for the education of poor village children, youth and women in India? Many of you participated in that through your donations and volunteer clerical work. Unfortunately, many have forgotten ... can you join once again to share from your blessings for the education of poor children?

This summer I celebrated 60 years - my "Diamond Jubilee" - as a School Sister of Notre Dame. Actually, I'm still celebrating! ☺ Each of you was a special gift in my life. My message to you now is to encourage you to look back on your memories of NDWC and the teachers who made a difference in your life. It is my dear hope that you have carried with you the values you've learned and witnessed at NDWC.

Sr. Jean Schmid, SSND

ネパール支援 ラリグランスクラブ

代表 五十嵐園子(IC)

同窓会からの寄付金に心より感謝の意を表します。2014年11月にNDワンダーフォーゲル部OG(11期峯松、12期住友、16期小林、鳥居)他3名を活動の紹介を兼ねてネパールに案内しました。主目的である奨学生の家庭訪問と視覚障害児寮訪問に加えて、首都カトマンズの雑踏、世界遺産に指定されている古都バクタプール、パタンに目を見張り、ヒマラヤ山系を遠望に空まで広がる段々畑に咲き群がる菜の花、足元の野の花の間を縫ってのワンデリング(ハイキング)では雄大な自然を各々が全身に感じ取り感動しました。この旅が〈これからの自分の生き方を見直す大きなきっかけを作ってくれた〉との感想を口々に話して下さり本当に嬉しく思いました。これをきっかけにND同窓会員がクラブに関心を持ってくださると嬉しいなと思ったことでした。



国際交流マリアン奨学基金【第12回留学生のための日帰りツアー】

晴天の11月16日(日)、留学生18名を宝塚歌劇宙組の公演に案内しました。今年は宝塚100周年。巷の盛り上がりもあり、参加希望者は早々と定員に達しました。国際教育課の永木先生と本部役員4名が同行しました。遅刻者もなく、宝塚に詳しい本部役員もいて、スムーズに流れました。

演目は『グスタフ3世：誇り高き王の戦い』と『Phoenix 宝塚!!よみがえる愛』で、留学生達は、初めての宝塚観劇にとっても興味深げでした。女性が男性を演じているので、ラブシーンには、やや興奮気味でした。普段とはかけ離れた夢の世界を体験できたと、喜びの声が届きました。

留学生の皆様から、よい感想をいただき、役員一同何より嬉しく思います。来年も楽しい企画ができるよう頑張ります。同窓生の皆様、アイデアがあればお寄せ下さい。

北澤、寺西



宝塚大劇場にて

《留学生の声》

- 留学生皆一緒に楽しかった。 ● こんな素晴らしい歌劇は初めて。
- 感動した、また行きたい。
- 同窓会の方々ともっとお話したかった(私達もちょっと残念でした)。
- 「ここは日本だ」と実感した。
- 次回は男性が女性を演じる舞台(歌舞伎?)が観たい。
- とても感謝しています。

留学生ツアーは国際交流マリアン奨学基金より補助しております。



ランチタイム

■ 同窓会名簿のご購入について ■

同窓会創立50周年記念事業の一環として2014年5月に発行いたしました。

500ページに及び、**終了いたしました。**購入ご希望の方は1冊3,000円にて発送させて頂いております。

同封の振込用紙に、住所、氏名、学籍番号(封筒表に記載)を明記してお振込み下さい。



※名簿の取り扱いには細心の注意を払い、決して外部に漏れたり流用されることがないように大切に保管して下さい。

支部だより

《 関東支部 》 松山 浩子 (19C)

同窓生の皆さま、お元気でいらっしゃいますか。

関東支部では昨年7月に学年委員会を開催し、学年委員・役員の27名の方に参加していただきました。

大学の近況等の報告、お食事おしゃべりと和やかなひと時を過ごすことができました。また、シスター野本をお迎えし、シスターがノートルダム女子大学同窓生のためにと新しく開かれた「気づきの旅」講座についてのお話を聞きました。

昨年10月には代官山ヒルサイドテラスにて、「ザルツブルグの花」の講師酒井英子先生をお迎えし、キャンドルスタンドを作成いたしました。「ザルツブルグの花」とは南ドイツ山岳地方に古くから伝わる木の実やスパイスなどの自然素材にビーズや布花を組み合わせたナチュラルクラフトです。当日は25名の方が参加してくださいました。

盛りだくさんの作業ではありましたが、事前に講習を受けていた役員が大活躍。とてもすばらしい作品ができあがり、皆さまには大変満足していただけたと思っております。作品創作中も楽しく歓談され、期を越えて楽しい時が過ごせたと思っております。

(関東支部のHPにUPしています。是非ご覧ください。)2015年には下記の通り関東支部同窓会を開催いたします。

日時：2015年7月26日(日)12時より 場所：目黒雅叙園 皆さまの多数の御参加をお待ちしております。



支 部 長	松山 浩子(大月)	(19C)	
副支部長	小角 育子(森)	(19C)	柿花 由紀(佐藤) (19E)
会 計	吉岡 順子(山本)	(19E)	久津名 順子(本常) (19E)
	中尾 佳寿子(坂本)	(19E)	
書 記	松富 由起子(森生)	(19E)	奥 哉子(丸山) (19C)

《 中部支部 》 岡本 千秋 (22E)

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか？ 中部支部では昨年7月に名古屋にて同窓会総会を開催し、芹田学長、片山副学長、瀧井会長を含む本部役員の方々、支部同窓生の計26名にご参加いただきました。皆さま、和やかで楽しいひと時をありがとうございました。

今回は岐阜大学教授であり、アーミッシュをライフワークとして研究されている大藪千穂先生(22期)による講演会「アーミッシュのライフスタイルから学べること」をおこないました。たくさんの写真・図表を交え、ホームステイでの経験談とともにとてもわかりやすく、しかも楽しく(!) お話していただきました。

22期生による運営は3月で終了となり、4月からは23期生に引き継がれました。皆さまのご協力に感謝するとともに、新役員への暖かい応援を今後ともよろしくお願いいたします。



支 部 長	聖山 久実(江寄)	(23E)
副支部長	桑原 京子(舟橋)	(23E)
会 計	高岡 寿美恵(仲村)	(23C)
書 記	杉原 一女(須網)	(23E)



地区だより

東北地区 松田 みどり (16E)

7月12日、東北地区同窓会2回目を開催しました。会長、副会長が京都から出席して下さり、かねてよりの念願が叶いました。また、本部からの寄付先、災害こども支援ネットワークみやぎ代表の小林さんもゲスト参加して下さり、震災後の復興のあり方の変化やこども達の現在の状況を伺うことが出来ました。

皆さんそれぞれ、以前からの知り合いのように話が弾み、有意義なひとときを、共有出来ましたこと、感謝致します。少しずつでも東北の輪を繋げていきたいと思っております。



地区代表 松田 みどり(村山) (16E)
役員 室井 夢美子(吉田) (25E)
町田 有希子(鈴木) (28C)

災害子ども支援ネットワークみやぎ活動報告

災害子ども支援ネットワークみやぎ 代表 小林純子

12月初旬の朝、仙台も一時雪景色となりました。資材や賃金の高騰、かさ上げ工事の遅れなどのため、宮城県内で73,360人がいまだに仮設住宅で暮らし、東日本大震災発生から4度目の冬を迎えます。被災地に思いをはせてくださる皆様に、近況をご報告申し上げます。

私たちが運営している「災害子ども支援センター」には、物資受取や相談に年間300人ほどが訪れます。「お世話になりました」と卒業していく方もありますが、出口の見えない状況の中、夫の暴力、離婚、失業などで困難を増した方に対しては、生活保護申請につないだり、フードバンクに緊急食料支援を依頼したりしています。このような家庭では小学生で不登校になる子も多く、将来が心配なため学習支援にも着手しました。一方で、少しずつ幼稚園、保育園の再建が進んできており、コンサートを開催したり、おもちゃで遊ぶ会を催したりしています。(子どもたちのうれしそうな顔をみていただければ幸いです。)このような活動ができるのも皆様のご支援のおかげと心より感謝いたしております。



北陸地区 高村 隆子 (20E)

北陸地区は11月22日、金沢の日航ホテルにて第6回同窓会を開催いたしました。今年から新たにご案内した新潟の方にご参加いただけなかったのは残念でしたが、福井、富山、石川から9名の同窓生が集いました。当日は好天にめぐまれ、29Fからの眺望を楽しみながらの和やかな会となりました。私の方からは5月の同窓会総会と、秋に訪れた新ユージニア館の様子を、写真をまじえてご報告させていただきました。春には北陸新幹線の開通もございす。次回、平成28年開催予定の同窓会には北陸地区内の方はもちろん、県外の方も旅行がてらご参加いただけたら…と思っています。同窓会をきっかけにさらに新しいつながりが生まれていくことを期待して活動してまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



地区代表 高村 隆子(山崎) (20E)
役員 石田 江三子(青木) (21E)
河合 裕子(藤田) (13C)
猪原 千津子(服部) (8E)
住駒 禎子(北) (3E)
長谷川 まゆみ(牧) (2E)

和歌山地区 道本 美月 (22E)

みなさまお元気でいらっしゃいますか。和歌山地区の同窓会活動がしばらく小休止となっていますこと、お詫び申し上げます。平成27年度か28年度には同窓会を開催することを目標に計画をしていく予定です。全体会はなかなか開催ができませんが、小さい集まりでも、みなさまが交流できる場があれば合わせて計画していきたいと考えておりますので、どうぞお気軽に声をおかけください。また、和歌山地区では、他府県にお住まいの同窓生の里帰り参加も歓迎しておりますので、是非ご参加ください。合わせて、若いみなさまのお力をお借りしたいと願っております。

地区代表 道本 美月 (22E)
役員 高辻 順子 (22E)
中田 佳代 (22C)



地区だより

山陽地区 梅田 喜久子 (19E)

6月8日(日曜日)、ホテルグランヴィア岡山にて第三回山陽地区同窓会が開催されました。当日は山口、広島、岡山に住む卒業生に加え、大学から副学長、同窓会本部より役員の方々にもご参加いただき、大変賑やかな会になりました。本学卒業生で心理カウンセラーの中小路理恵さんの講演や副学長のノートルダムへの熱い想いをお聴きして、とても有意義な同窓会でした。



地区代表 梅田 喜久子(木村) (19E)
役 員 赤江 美智子(北村) (6E)
田阪 素子(河合) (6C)

山陰地区 桑原 可菜子 (5C)

平成25年6月の地区同窓会のあと、7月に鳥取県で、また今年6月には島根県の同窓生とそれぞれに小さなお集まりをいたしました。お喋りやお喋りの賑やかなひと時でしたが、学生気分に戻ったような元気を頂きました。来年は第4回地区同窓会を島根県立美術館で開催の予定です。学芸員さんの解説もお願いして、心にもおなかにも美味しい会にしたいと計画中です。皆様是非ご参加ください。



地区代表 桑原 可菜子 (5C)
役 員 山本 和子 (4E)
井上 明美(野々内) (35C)
山本 友理(齋藤) (41W)

九州・沖縄地区 梶原 敬子 (41E)

春もたけなわの日和、同窓生のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。私事ではありますが、昨年結婚いたしまして、新しい生活を楽しんでおります。さて、久しぶりにみなさまにお会いできることを楽しみに、次回の同窓会を計画しております。毎回参加して下さる方はもちろんのこと、初めて参加される方やお子様連れの方もどうぞお気軽にご参加下さいませ。よろしければ、お手伝い頂ける方もいらっしゃいましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、みなさまにお会いできることを今から心待ちにしております。

九州・沖縄地区同窓会のお知らせ

日 時 平成27年6月14日(日)
場 所 ホテルニューオータニ博多
日本料理「千羽鶴」
地区代表 梶原 敬子(石川) (41E)

【同窓会支部・地区代表者】

関東支部(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木)
中部支部(長野・三重・愛知・静岡・岐阜)
東北地区(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
北陸地区(富山・石川・福井・新潟)
和歌山地区(和歌山)
山陽地区(岡山・広島・山口)
山陰地区(鳥取・島根)
四国地区(徳島・香川・愛媛・高知)
九州・沖縄地区(福岡・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄)

松山 浩子 (19C)
聖山 久実 (23E)
松田 みどり (16E)
高村 隆子 (20E)
道本 美月 (22E)
梅田 喜久子 (19E)
桑原 可菜子 (5E)
佐野 英子 (9E)
梶原 敬子 (41E)

地区会開催への本部からの補助について

日頃は、京都ノートルダム女子大学同窓会のためにご協力頂きまして、ありがとうございます。平成25年6月12日の本部役員会において、地区同窓会への補助について検討し、右記のように決まりましたので、今後、地区同窓会を開催される場合は、開催の2か月前までに同窓会本部までお知らせ下さい。

※イベント(催しものがある場合)の内容とそれにかかる費用
※大学職員の出席がある場合の出席者全員の参加費
※地区会案内状枚数分発送費(但し、補助分の2万円を超える場合)
本部会にて検討し補助の額を決定します。

みちくさ会 水谷 訓子 (4E)

みちくさは母校の発展とNDファミリーの繁栄を応援する会です。
第7回みちくさを昨年11月17日に大阪新阪急ホテルにて開催し、管理栄養士の西川みか様のお話と林家笑丸様(30期影浦直美様の弟)の演芸落語を楽しみました。特別企画は昨年5月17日、三田市旧九鬼家住宅(6期旧姓九鬼文子様の実家)などを見学しました。
第8回みちくさは11月28日大阪新阪急ホテルで開催いたします。
「親による婚活」のお世話やお役立ち情報の発信もしています。お問い合わせは事務局・水谷 まで。

世 話 人	中野 梅子 (3E)	櫻井 美智子 (4E)
	水谷 訓子 (4E)	木村 真紀子 (6C)
	園井 万起子 (10E)	白井 佳子 (20E)



活躍されている同窓生 小河原 洋子(12E)

～倉敷の町家で家業を継承しております～

白壁の街・倉敷。一部の地域ではありますが、近代倉敷の歴史の原点とも言われ、江戸後期から明治・大正時代の姿のままで保存され「美観地区」と呼ばれている町並みがあります。その美観地区から西に5分ほどの所に位置する明治12年創業の「四十瀬屋小河原呉服店」の四代目として、現在は事業主である母に代わって切り盛りをしています。

大学卒業後は就職せず、家業を手伝いつつ、お稽古事に専念。一時は指導資格も得て、カルチャー教室で「ペン習字」の講師を務め、多い時には180名の弟子をかかえて東奔西走していましたが、16年前に父を亡くし、これからは自分が母を支えて行かねばと、お弟子達には申し訳なく思いながらも、後を支部の先生方に任せ、仕事を家業一本に絞りました。

倉敷はイベントの多い町です。2月、春を待つこの時期に、美観地区一帯では「春宵あかり」が催され、10数ヶ所で影絵やプロジェクションマッピング、蠟燭の灯りなど趣向を凝らしたあかりの演出で訪れる人を楽しませていますが、数年前から最も西に位置する会場として当家も参加しており、今年も倉敷市より参加要請をいただいています。

2013年の7月、NHK岡山制作の「新日本風土記・倉敷」が放映され、蔵屋敷での暮らし紹介の部分で、母と私と猫とで出演しました。番組は2013年11月と2014年7月にも3回ずつ再放送され、思わぬ

方々から「観たよ」とご連絡を頂戴したり、町でお声掛けいただいたりと嬉しい出来事がありました。昨年11月には町屋トラストというNPO法人主催の「備中no町屋deクラス」というイベントに参加。

明治から当家に伝わる道具類でお茶とお菓子でおもてなししつつ、着物について話すという内容で3日間開催しました。着物に興味を持ち、気楽に着ていただく事や、また呉服店には入りにくいというイメージを払拭して、お茶を飲みながらゆっくりお喋りする情報交換の場と捉えていただける機会になったなら嬉しいと思っています。

60の手習いとでも言いましょうか、昨年2月から「朗読教室」に通っています。朗読というまた新たな扉を開き、年若き方々との交流や色々な体験を楽しんでいます。

「去年と同じ今年のありがたさ」この1年も85歳になる母とチンチラシルバーの猫と、元気で楽しく過ごしたいと願いつつ、新たな年度を迎えています。

同窓生の方がもし倉敷にいらした場合には、美観地区からも近い場所ですので、お寄りいただければ、倉敷の食事処ですとか、お買い物スポットなど、アドバイスも出来ますし、お茶など差し上げたいです。必要とあらば、観光のご案内もOKです。



同期会の報告

第2期 古希の集い

世話役 季家桂子、高野淳子

11月11日、エクシブ八瀬にマクドナル神父様、シスターセリン、東先生をお迎えして古希の会を開きました。祝いの舞、ピアノ演奏と合唱、バレエ、海外組の近況報告と盛りだくさんのプログラムでしたが、温かい雰囲気の中進行しました。フォークダンスも元気に楽しく踊れ、同期生の深まりを感じ取れました。二次会で所先輩のピアノに合わせて51名全員で歌った「オーバー・ザ・レインボー」は明日への希望となって、心に残りました。お互いに勇気を頂いた会となり感謝しております。



第3期 古希を祝う会

世話役 田中康子、中野梅子

私たち3期生は秋晴れのなか9月29日に「柊屋」にて古希を祝う会をしました。総勢35人の参加者は美味しいお料理と懐かしい友人との再会に喜び合い、楽しいひと時を過ごしました。食事の後、7期生の女将さんに歴史ある部屋を案内していただき、文化と伝統を守ることの大切さを教えて頂いた気がしました。お喋りをしながらの帰り道、この京都でいい大学で学べたことの幸せを喜び合いました。



第5期 同期会

世話役 芳谷六美、喜多村みづほ
山田順子

「ひさしづりに登校なさいませんか」の呼びかけに32名が応じ、45周年同期会を10月17日、校内にて開催いたしました。新しい校舎の見学からスタートし、学生食堂の一角で会食、マリアンハウスでのおしゃべりなどなど。校門をくぐったとたんタイムスリップしたかのような光景が…。初めて参加の方が多いのも嬉しいことでした。学校関係の方、学食の方、暖かく迎えて下さったこと、感謝します。



第6期 同期会

世話役 小野佳子

昨年10月21日、びわ湖湖畔「緑水亭」に於いて6期生同窓会を行いました。初めて京都を離れ、琵琶湖の美しい風景を楽しみ、日常の雑事を忘れ美味しい和食をいただきながら楽しい一時を過ごすことが出来ました。出席者の方々からは、現生活の様子を聞かせていただき、同感したり、刺激を受けたり、新たな発見があったり…と、あっという間に時間が過ぎてしまいました。ご出席者はじめ、ご協力下さった方々、大変ありがとうございました。



第8期 同期会

世話役 中本孝江

2014年7月29日(日)、アウトドアでの同期会を唐崎京都ヨットクラブにて開催致しました。お招きしたシスター セリーン・松本と20名の方々が参加して下さいました。目の前に広がる琵琶湖を眺めながら、バーベキューを楽しみ、お肉に舌鼓を打ち、又、近況や思い出話に花が咲き、和気藹々で40有余年の歳月を感じさせない楽しいひと時でした。食後はフルーzingや懐かしいすいか割りなどに興じ、アウトドアならではの醍醐味を満喫した一日でした。



第10期 卒業40周年同窓会

世話役 門 道子、本岡 扶紗

2014年11月8日、ホテルグランヴィア京都にて『卒業40周年同窓会』を開催しました。今回卒業後、初めて同窓会に参加して下さった方6名を含め、22名が集まりました。受付のところから旧姓やニックネームが飛び交い、楽しい会話が始まります。

全員の写真撮影後、乾杯、それぞれの近況報告をしていただきました。最近の4年間はあっという間に過ぎてしまうのに、40年前の『あの4年間』はなんと輝き、記憶も鮮明なんでしょう…懐かしい話

をしていると気持ちは学生時代に戻り、おしゃべりに花が咲きました。オカリナを演奏して下さいました方、歌を唄って下さった方。気持ちが癒されて歌から元気をもらいました。最後に学歌斉唱で散会。次回また元気でお逢いしましょう…と再会を約束してお別れしました。今回お仕事や介護で参加出来なかった方もたくさんおられました。ぜひ次回はたくさんの方にお逢いできますようお願いしております。



お願い

- 学年委員の交替について：5年を上限として交替をお願いします。交替の際は、すみやかにマリアンハウスまでお知らせ下さい。
- 氏名、住所の変更：会員番号、旧姓、旧住所などをお書きの上、マリアンハウスまでお知らせ下さい。

手芸ボランティア

シスターよりキリスト教の学校として同窓会もボランティア活動をするのが大事なのではとのご提案で活動を始めました。皆様の家庭にねむっている布や手芸材料を寄付していただいて手作り手芸品を作り同窓会総会とチャリティーバザーで販売しています。売り上げは同窓会からネパールや国内外の災害寄付金となります。月2回製作に励んでいますので気軽に見にきてください。皆さんのご協力をよろしくお願い致します。



ND おあしす 週末黙想の案内

本学名誉教授 初代同窓会顧問 シスター セリーン・松本

唐崎修道院の食堂、聖堂から四季折々に変化する琵琶湖が眺められます。日常の雑事から離れて、心身の疲れを癒すため、新たなエネルギーを得るため、心静かに水辺でひとときを過ごしてみませんか。シスターたち一同、卒業生皆さまの来院をお待ちしています。

下記のように、週末黙想(金曜日夜食6時から日曜日昼食まで)という2泊3日の集いを企画しています。全行程でなくても、日程中の一泊でも、日帰りでもかまいませんので、ご希望の方はどなたでもご自由に参加ください。お友達を誘ってご一緒にお越し下さってもかまいません。

2月 6日(金)～8日(日)	7月17日(金)～19日(日)
2月27日(金)～3月1日(日)	9月18日(金)～20日(日)
3月20日(金)～22日(日)	11月27日(金)～29日(日)
6月19日(金)～21日(日)	

参加を希望される方は、次のいずれかの方法でご一報下さい。



アクティビティーの案内

手芸ボランティア		総会や秋のバザーにむけ、手芸品を製作してその売り上げを寄付に。	マリアンハウス 第1・3金曜日／10:30～15:00	小林 京子(17E)
NDおあしす 京都	シスター セリーン・松本	“言葉の内に命があった”(ヨハネ:1;4) 生きる源を聖書に求めませんか? 気楽におしゃべりできる『場』です。	マリアンハウス 第4金曜日／13:30～15:00	岡森 靖子(11C)
NDおあしす 中部支部	シスター セリーン・松本	「心のおあしす」をみつけましょう。 シスターのお話と仲間との語らいの中で。	安保ホール 第2金曜日／11:00～13:00	桑原 衣里(25E)

クラス	講 師	内 容	場所・日時	責任者
英会話	シスター モリーン	各自で興味のある新聞記事を持参しての発表や、日常生活を元にしたスピーチなど。楽しいシスターのクラスです。都合により2学期から講師が変わります。	マリアンハウス 第2・第4月曜日／10:30～12:00 ※都合により変更になることがあります。	遠塚谷 桂子(15E) 浦 章代(27E)
マリアンコーラス	東 朝子	ストレッチ、発声練習で身体をほぐし、聖歌、季節や時の歌で心を豊かにし、ハーモニーを楽しみます。	ユニソン会館B1 音楽練習室 第3木曜日／10:00～12:00	岩田 真理子(12C) 堀田 佳津栄(12E)
英語で書こう会	シスター セリーン・松本	ほのぼのとした物語を題材に、ニュアンスを意識した、伝わる英語を書く練習をしています。また、すぐに役立つ日常表現も勉強します。	マリアンハウス 第4金曜日／10:30～12:00	宮井 順子(3E) 安達 真理子(10E)
ヨガ	新井 千春	心にも体にも優しいヨガレッスンです。定員は12名程度ですが、まだ若干余裕があります。	マリアンハウス 第2金曜日／12:30～14:00 ※先生のご都合により他の金曜日になることもあります。	稲田 薊貴(23C) 北谷 貴代子(23C)

※各クラス受講料は1回500円。

※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

サークル	講 師	内 容	場所・日時	責任者
英語で書こう会	シスター セリーン・松本	日本語の発想から英語の発想へ書くことによって少しでも身に付けられたら。(参加費:1回/2,000円)	マリアンハウス 第3水曜日／10:30～12:00	中田 記美江(7E)
長唄三味線	稀音家六三土里	個人レッスンです。必ず弾けるようになります。発表の機会もあり、楽しいです。伝統音楽が見直されつつある今、お子様にもいかがでしょうか?(参加費:初年度は1回1,000円)	マリアンハウス 和室 月曜・水曜に開きます。 時間はお約束の上。	寺西 みどり(13E)



日本文化研究会へのお誘い 平成27年度 年間予定

2015年	6月24日(水)	天満繁昌亭にて落語鑑賞(2015年1月予約予定)
	9月 2日(水)	「京都からキモノを知る」講演会 マリアンハウス 講師:鳥居本 幸代 京都ND女子大学教授 講演後、学食にて昼食
	11月11日(水)	姫路城見学
2016年	1月26日(火)	新年会「木乃婦」(2015年1月予約予定) 「日本料理について」講演予定 三味線演奏
	3月10日(木)	東映映画村見学 博物館・時代劇セット見学

※予定が変更になる場合があります。 ※登録会費:1年間 1,000円

今年度は手芸ボランティアでお世話することになり、左記のような企画を立てました。会員以外の方々も、興味のある時はどしどし御参加下さい。多くの同窓生とご一緒出来るのを楽しみにしております。



世話役

島田 真由美(4期)
岡 和(4期)
池淵 律子(6期)
人長 久巳子(7期)
谷川 郁子(13期)
小林 京子(17期)
上村 浩美(19期)

平成26年度 マリアンハウスチャリティバザーの報告

平成26年10月26日(日)、マリアンハウスチャリティーバザーを、開催しました。
お天気にも恵まれ、150名余の来場者をお迎えしました。シスター方や教職員の方、大勢の同窓生にも来ていただき、和やかな雰囲気の中歓談されたり、お買い物を楽しんでいただいたりしました。沢山の寄贈品、手芸ボランティアさんの手作り作品、恒例のリンゴケーキ、手作り焼きたてピザ、ちまき、カレー、などなど、盛り沢山な販売内容となりました。同時に関匠子さん(12E)のパッチワーク遺作展も開催しました。ご協力頂きましたすべての皆様に心より感謝いたします。収益金は、今年も東北大震災の復興支援などに、役立たせて頂きます。有難うございました。



平成27年度 文化プログラムの案内

右側の写真は昨年度のものです。



苔寺にて



Xmasリース作り



リンパマッサージ講習

マリアンハウスにて、次年度も下記の通りプログラムをご用意致しました。
皆様、なつかしい学舎に是非お越し下さい。一緒に楽しみましょう。

日 時	タイトル	内 容
平成27年 6月24日(水) 10:30~12:30	骨のエクササイズ(KaQiLa) ~カキラ~	ろっ骨を中心とした全身の関節を複合的に使って、内面・外面ともに美しくなりましょう。誰もが楽しく出来る頑張らないでいいエクササイズです。 講師/中川理恵先生
7月22日(水) 10:30~12:30	お気に入りの アロマキャンドル作り	香りや形、それぞれお好みで、オリジナルキャンドルを作りましょう。 講師/青山恵美子先生(chouchou-candle)
9月30日(水) 10:30~12:30	バザー作品作り	一緒に手作りを楽しみましょう。
10月25日(日) 10:30~14:30	マリアンハウスチャリティーバザー (寄贈品をお願いします)	
11月25日(水) 10:30~12:30	デコレーションカップケーキ作り	シュガークラフトや絞りの技術を使って、カップケーキにデコレーションをしましょう。 講師/藤林亜弥子先生
平成28年 3月23日(水) 10:30~12:30	お花見弁当作り	卵、海老、菜の花、鰯、鯛、合鴨、散らし寿司茶巾包等で春の彩りと香りを箱の中に詰め、季節の息吹を感じながら、楽しくお料理を作りましょう。 講師/山本紀子先生
4月22日(金) 10:30~12:30	和菓子作り体験	「鶴屋吉信」本店にて、季節の和菓子作りを楽しみましょう。

- 文化プログラムのご提案、ご紹介いただける先生がおられましたらご一報下さい。
- 諸般の事情により日程等の変更があります。
- 文化プログラムは卒業生の方のご紹介があればどなたでもご参加いただけます。

マリアンハウススタッフ

山田恵子(12E) 西岡由美子(12E) 内田和子(12C) 小西京子(15C) 稲田繭貴(23C)
北村香代子(23E) 宮本としか(23E) 小西真子(23E) 本郷智子(23E)



チャリティーバザー寄贈品送り先・文化プログラム申し込み・その他お問い合わせ先

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地 京都ノートルダム女子大学キャロライン館1階 同窓会館マリアンハウス
TEL&FAX: 075-701-9149 E-mail: nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp (開館日時: 月・水・金 10:00~15:00)

大学だより

最新の設備を備えた “新しい大学図書館”にいらしてください。

本学創立50周年記念事業「北山キャンパス総合整備計画」が進められ、平成26年4月に図書館はソフィア館(旧:図書館棟)からユーヅニア館へ移転いたしました。

地階1階、地上2階の図書館内はバリアフリー対応を実現。書架間隔を広く取り、館内にはエレベーターや多目的トイレを設置しています。

また、ラーニング・コモンズやグループワークスペースなど共同学習環境を提供できるようになりました。

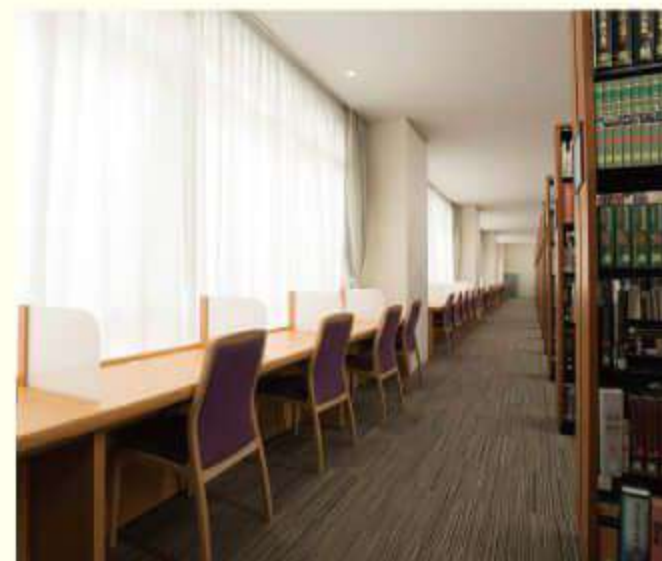
新しいユーヅニア館のオープンを機に、本学の知的資源を社会に還元することを目的として、図書館の一般公開も始めました(規程上の利用資格に準じた方のみご利用いただけます)。

同窓生の皆様はもちろんご利用いただけますので、新しく快適な大学図書館へいらしてください。なお、ご利用に際しては、「図書館利用証(ICカード)」の交付が必要になります。

以下に、同窓生の方の申請手続きとご利用いただけますサービスをご案内いたしますので、ご利用の際には図書館情報センター1階総合カウンターで交付手続きをおとりください。



ラーニング・コモンズ



明るい閲覧席



書架が並ぶ閲覧室



総合カウンター

message

卒業生のみならずにも新しい快適な図書館を是非ご利用頂きたく存じます。入館には図書館利用証を作成して頂く必要がありますが、貸出もして頂けます。特に暑い夏には涼しい図書館で読書や、映画鑑賞三昧はいかがでしょう。

図書館情報センター館長 須川 いずみ

① 「図書館利用証(ICカード)」の申請について



1) 申請受付日時 開館日の月～金、9時～17時

開館日は図書館ホームページ(<https://nais.notredame.ac.jp/lib/>)あるいはお電話でお確かめください。

2) 受付場所 京都ノートルダム女子大学

ユーヅニア館 図書館情報センター1階総合カウンター

3) 必要書類

- ① 「図書館利用証(ICカード)交付申請書」
- ② 現住所が確認できる身分証明書
- ③ 証明写真1枚 3×4cm程度の大きさで背景なしのもの。
カラー、モノクロ可。(お写真は返却いたしません。ご了承ください。)

4) 交付手数料

本学が発行する1,000円の証紙をご用意いただきます。

5) 交付の流れ



② 利用できる図書館サービス

※図書館資料の閲覧、貸出、複写、レファレンス

※貸出冊数：一般図書(指定図書含む)3冊

軽読書無制限

※貸出期間：一般図書4週間

軽読書4週間

指定図書2週間

サービス利用時間/開館日の月～土、9時～17時

③ 図書館情報センター概要

図書：約220,000冊

雑誌：約4,500タイトル

視聴覚資料：約10,000点

これら蔵書はオンラインで検索することができます。

図書館ホームページ(<https://nais.notredame.ac.jp/lib/>)からOPACを選択し検索してください。

本件のお問合せ先

京都ノートルダム女子大学図書館情報センター図書館事務室

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1 TEL. 075-706-3751 FAX. 075-706-3752

E-mail: library@notredame.ac.jp Online URL: <https://nais.notredame.ac.jp/lib/>

2015年度 主な大学行事 (予定)

4月 2日(木) 入学式

10月24日(土)・25日(日) ND祭・ホームカミングデー(25日)

11月11日(水) 物故者追悼ミサ

12月16日(水) ノートルダムクリスマス

3月12日(土) 卒業式・学位授与式 卒業祝賀パーティー

母校で
開催します!!

平成27年 第51回 同窓会総会のお知らせ

日 時 平成27年5月31日(日)
午前11時00分(受付10時30分～)
場 所 **京都ノートルダム女子大学 新ユージニア館**
受付: ユージニア館入り口
記念講演: NDホール
エンターテイメント: 学生食堂
会 費 4,000円 三友居(彩りゆかしい竹籠弁当)

※会費は当日受付にてお支払い下さい。欠席の場合でも返信ハガキを投函して下さい。今年度、抽選会はありません。

なお、今回はご家族、ご友人の方も出席して頂けます。返信ハガキ所定欄に同伴者の氏名、昼食弁当(4000円)の要・不要をご記入下さい。

記念講演



テーマ「フランス料理あれこれ」

フランス料理シェフ ただ のり 小西 忠禮 先生

profile

1941(昭和16)年 神戸に生まれる
1963(昭和38)年 日本調理師学校卒業
神戸オリエンタルホテル勤務
1967(昭和42)年 フランス料理修行のため単身渡仏
1973(昭和48)年 帰国

フランスでのレストラン勤務先

Chaz Paul
Le Relais de Barbison
Ritz
Exposition Universall.d' OSAKA
万博フランス館
Paul Bocuse
Schweizerhof
Plaza Athenee
Les Frere Tros Gros
Droningen
Pot-au-feu 等に勤務

帰国後、日本でのレストラン勤務先

リーガ・ロイヤル・ホテル(大阪)
神戸ポートピア・ホテル
ホテル・オークラ神戸
シーサイド・ホテル舞子ヴィラ神戸に勤務

現在

学校法人 宮川学園 ホザナ幼稚園(理事長)
日本エスコフイエ協会(フランス料理シェフの会)正会員

エンター
テイメント



大谷 由里子^(21E) 先生

(有)志縁塾 代表取締役
人材活性プロデューサー
(元 吉本興業プロデューサー)

profile

京都ノートルダム女子大学卒業後、吉本興業(株)に入社。故・横山やすし氏のマネージャーを務め、宮川大助・花子、若井こずえ・みどりなどを売り出し注目を集める。
現在、人材活性プロデューサーとして年間300を超える講演・研修をプロデュースする傍ら、自らもプレゼンターとして、全国での講演・研修を精力的に行っている。

1期 同期会のお知らせ

日 時 平成27年11月7日(土)
場 所 ホテルグランヴィア京都
後日、案内状をお送り致します。
多勢のご参加で楽しい会にしたいと思います。
世話人 有本 昭子、中村 由紀子

21期 同期会のお知らせ

日 時 平成27年5月31日(日) 17:00～
場 所 IN THE GREEN
京都市左京区下鴨半木町 府立植物園北門横
世話人 山上 朋子

祝周年の皆様

おめでとうございます。

総会でバラの花が贈呈されます。

是非ご出席下さい。

1期生 …… 50周年	26期生 …… 25周年
6期生 …… 45周年	31期生 …… 20周年
11期生 …… 40周年	36期生 …… 15周年
16期生 …… 35周年	41期生 …… 10周年
21期生 …… 30周年	46期生 …… 5周年

予告

第52回 同窓会総会は
平成28年5月22日(日)に開催予定です。

編集後記

会報45号にご寄稿くださいました同窓会会員の皆様大変有り難うございました。

今回は第50回総会、第4回ノートルダムファミリーコンサート、第12回留学生宝塚歌劇観劇日帰りツアーなど大きな行事を掲載させていただいております。同窓会も50年を超え、さらに会員数も増え、新しい企画を取り入れている様子を会員皆様に会報でお伝えできたらと願っております。内容だけでなく、読みやすく、興味をもってくださいるようなものになりますように、心がけました。広報ふたりで力をあわせ、楽しく作成することができました。記事にご協力いただきました学長、シスター、教職員の皆様、印刷屋さん、デザイナーさん、そして、海外からもお便りをいただいたシスターに深くお礼を申し上げます。最後になりましたが、役員の皆様ありがとうございました。

中小路 理恵(21C) 橋本 睦(40E)

会員数 1万4千4百余名
支 部 関東/中部
地 区 東北/北陸/和歌山/四国/山陽/山陰/九州・沖縄

同窓会活動情報は同窓会ホームページで!

京都ノートルダム女子大学同窓会

検索

または大学HPアドレスから http://www.notredame.ac.jp/m_house/

“大学の今”はND キャンパス通信で!

年間4回発行され、大学のホームページでご覧になれます。



マリアンハウスのステンドグラス

マリアンハウス使用規定

① 使用できる人

- 京都ノートルダム女子大学・大学院同窓生
- 京都ノートルダム女子大学・大学院在校生
- 京都ノートルダム女子大学・大学院教職員
- ノートルダム女学院小中高の同窓会(本部として)

② 使用できる日時

月・水・金 10:00~15:00

(但し、上記以外でも相談の上、使用可)

③ 年間休館日

- 夏休み 8/1~8/31
- 冬休み 12/20~1/10
- 大学行事のため入構不可となる日(入試日等)

④ 使用料(冷暖房費込み・台所使用可)

マリアンハウス使用料		
ホール	3,000円	使用時間
和室(10畳)	1,500円	10:00~15:00
洋室(7畳)	1,500円	宿泊は不可

⑤ 申込方法

使用する1週間前までにマリアンハウスに
Fax 又はEメールでお申込ください。

Fax 075-701-9149

Email nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp

※ 休館日使用の場合は、使用許可願い提出と
館内設備説明の為に事前に来館が必要となります。

※ 駐車場が限られていますので、
公共の交通機関でお越し下さい。



ホール



洋室



和室

多くの同窓生がマリアンハウスを訪れ、利用して下さいますようお願いいたします。

京都ノートルダム女子大学 同窓会会報 マリアンVol.45

2015年4月1日発行 / 京都ノートルダム女子大学同窓会

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地 京都ノートルダム女子大学 同窓会館マリアンハウス

TEL & FAX / 075-701-9149 E-mail / nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp

表紙題字 / シスター セリーン・松本 印刷 / 和光印刷株式会社